

令和4年度 学校評価

仙台市立六郷小学校

教育活動アンケートの結果について

保護者・地域の皆様へ

日頃より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、今年度の教育活動アンケート（6月・12月）にご協力いただき、誠にありがとうございました。

皆様にご協力いただきました今年度の教育活動アンケートの結果につきまして、本資料のとおりご報告させていただきますので、ご覧くださいますようお願いいたします。今後も、引き続き、本校の教育活動への温かいご支援をお願い申し上げます。

本資料の見方

- ▽ アンケート結果の6月と12月の回答（割合）について、児童アンケートの結果を中心に比較し、保護者や地域の皆様、学校の回答（割合）を参考にして考察しております。
- ▽ 今年度の保護者アンケートについては、6月と12月共に同じ内容で、Googleフォームを活用し、オンラインで回答していただきました。
（無記名式 ※差支えない方のみ記名）
- ▽ 地域の皆様におかれましては紙面で回答していただきました。
（無記名式 ※差支えない方のみ記名）

教育活動アンケートの概要

実施時期 : 第1回（令和4年6月）、第2回（令和4年12月）

実施対象 : 児童、保護者の皆様、地域の皆様、教職員

アンケート項目数 : 全12問
（児童：7問、保護者の方、地域の方：12問、教職員：9問）

実施方法 : 児童、保護者の方、教職員 オンライン回答・無記名式
（※差し支えない方は記名）

地域の方（第1回、第2回共に紙面回答・無記名式
（※差し支えない方は記名）

1 協働型学校評価の目標について

協働型学校評価の目標

※到達目標は、学校・家庭・地域の三者協働でどのような子供を育てていくのかというゴールの目標を表しています。
重点目標は、そのゴールに向かって、今年度特に大事にしたい目標を示しています。

到達目標：自他を大切に、協働する力を育てる。

重点目標：かかわりを大切にする子供
・気持ちのよい挨拶や場に応じた言葉遣いができる。
・互いのよさを認め合うことができる。
・感謝の気持ちを言葉で伝えることができる。

<アンケート内容>

① 私(お子さん・子供たち)は、気持ちのよい挨拶をしたり、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えたりしている。

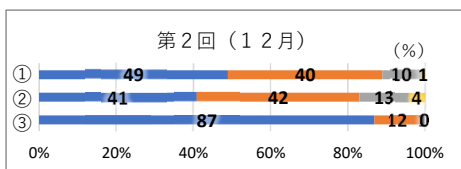
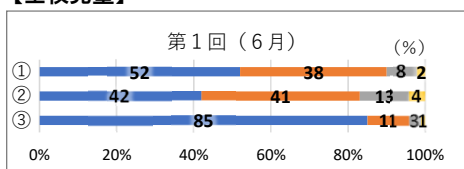
② 私(お子さん・子供たち)は、場面に応じた正しい言葉遣いで話している。

③ 私(お子さん・子供たち)は、友達や家族のことを大事にしている。

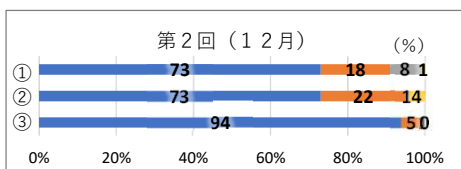
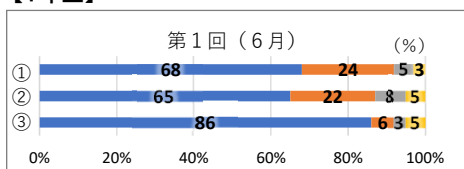
※児童アンケートでは「私は～」、保護者アンケートでは「おさんは～」、地域・教職員アンケートでは「子供たちは～」と聞いています。

※ グラフは、左から「はい」、「どちらかという『はい』」「どちらかという『いいえ』」、「いいえ」の順に表示

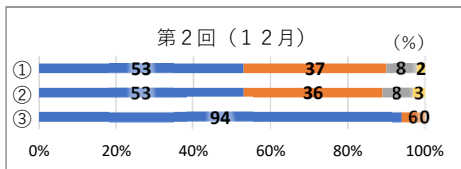
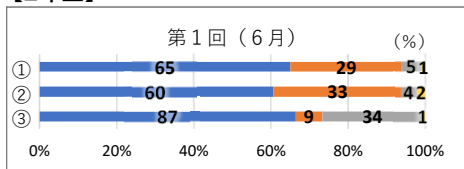
【全校児童】



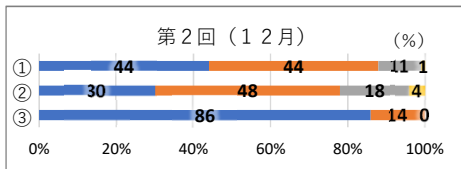
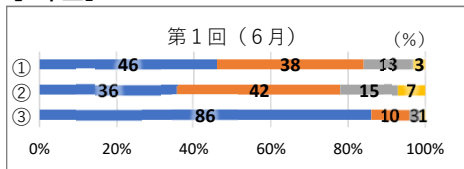
【1年生】



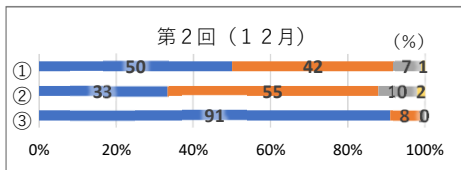
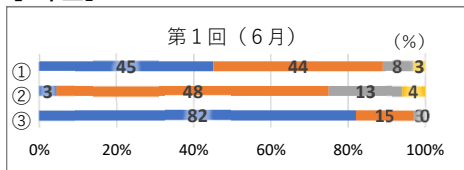
【2年生】



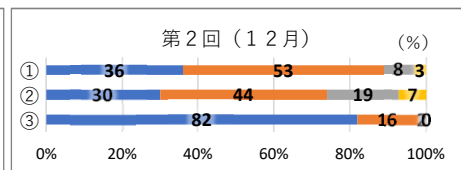
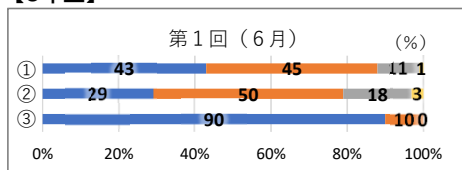
【3年生】



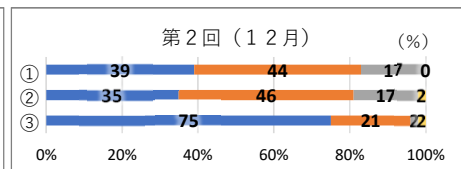
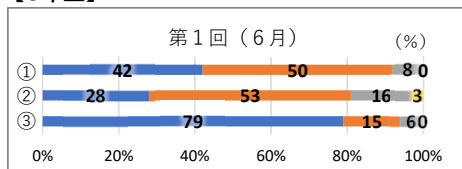
【4年生】



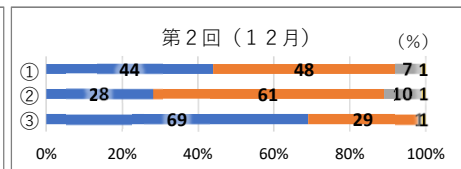
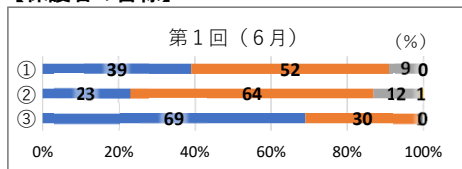
【5年生】



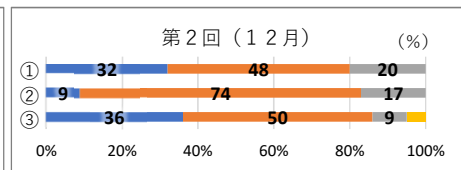
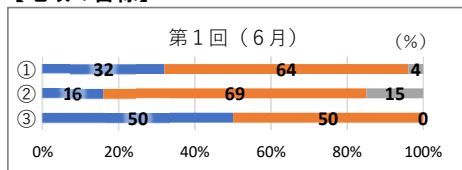
【6年生】



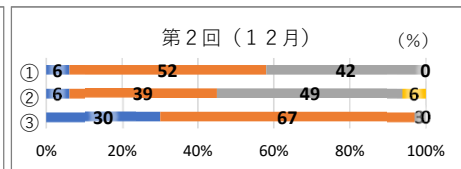
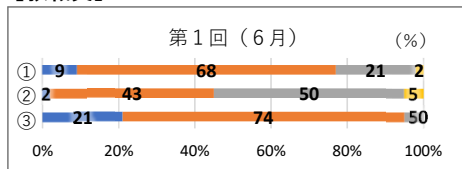
【保護者の皆様】



【地域の皆様】



【教職員】



<成果>

○ ①の「気持ちのよい挨拶や『ありがとう』などの感謝の言葉」については、児童、保護者、地域の皆様共に「はい」「どちらかといえば『はい』」の割合が8～9割で、個人差はあるものの、学校全体として挨拶の習慣が身に付いてきていると思われる。

○ ③の「友達や家族のことを大切に思っている」については、児童、保護者、地域の皆様、教職員ともに「はい」「どちらかといえば『はい』」の割合が非常に高い状態である。この項目については例年高い割合の結果となっている。今後も継続して、お互いを大切に思っている態度を日常的に身に付けさせていきたい。

<課題>

△①の「気持ちのよい挨拶や『ありがとう』などの感謝の言葉」については教職員が「はい」「どちらかといえば『はい』」と回答したのは6～8割程度であった。児童、保護者、地域の皆様との差がみられる。「場面に応じた正しい言葉遣い」では、1年生、4年生、6年生で改善しているが、全体的に自他の評価が低い傾向にある。

<来年度に向けて>

☆ ①、③の態度をさらに身に付けさせていくための活動を継続しつつ、授業や行事、諸活動において「場面に応じた正しい言葉遣い」を意識させ、日常的に実践させたい。その取組の中で子供たちを褒め、大いに励まして正しい言葉遣いを定着させていきたい。

☆ いずれの項目についても、何年間も継続することによって身に付けていく態度であるため、学校と家庭、地域が取組を継続していくことが重要である。今後、家庭・地域との連携、小中連携や幼保小連携を一層進めていきたい。

2 子供たちの様子や姿について (1)

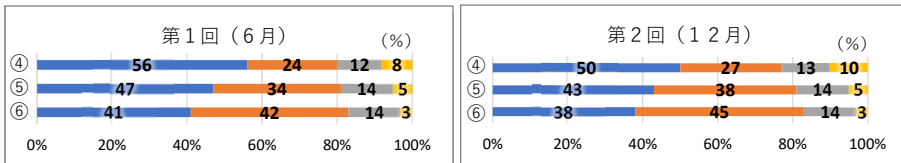
<アンケート内容>

- ④ 私(お子さん・子供たち)は、学校が楽しい。
- ⑤ 私(お子さん・子供たち)は、進んで授業や宿題に取り組んでいる。
- ⑥ 私(お子さん・子供たち)は、約束やきまりを守って生活している。

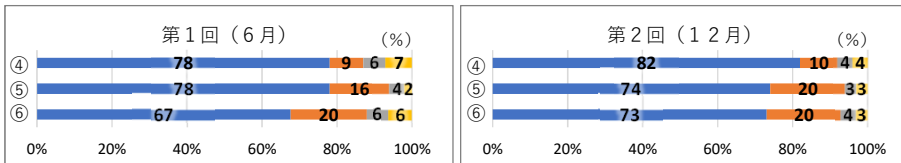
※児童アンケートでは「私は～」、保護者アンケートでは「おさんは～」、地域・教職員アンケートでは「子供たちは～」と聞いています。

※ グラフは、左から「はい」、「どちらかというといはい」、「どちらかというといいいえ」、「いいえ」の順に表示

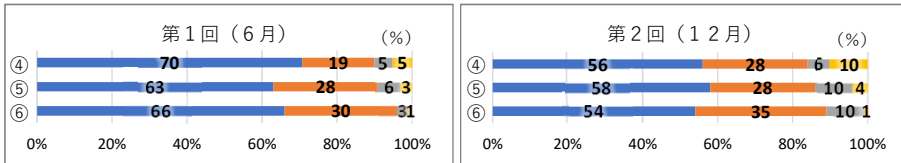
【全校児童】



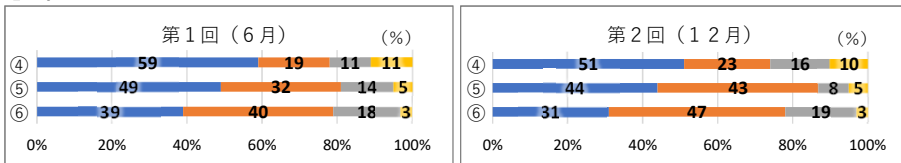
【1年生】



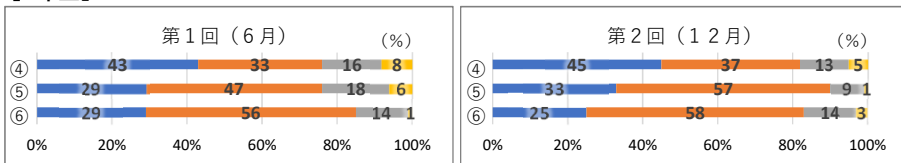
【2年生】



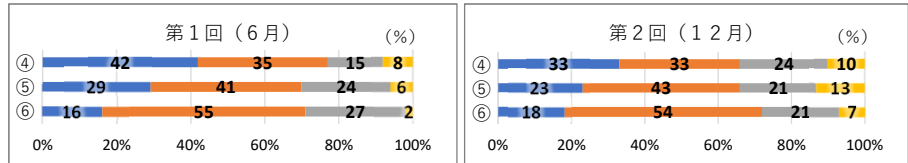
【3年生】



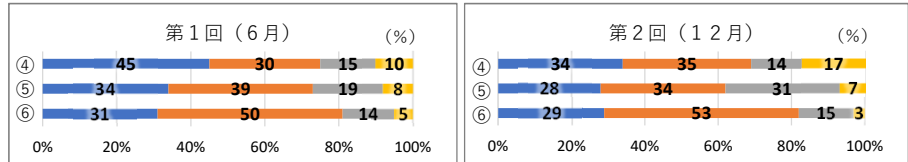
【4年生】



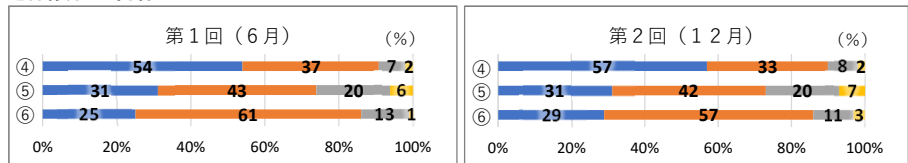
【5年生】



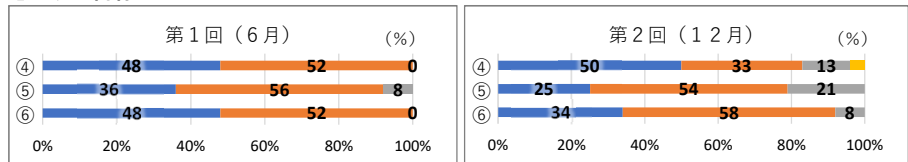
【6年生】



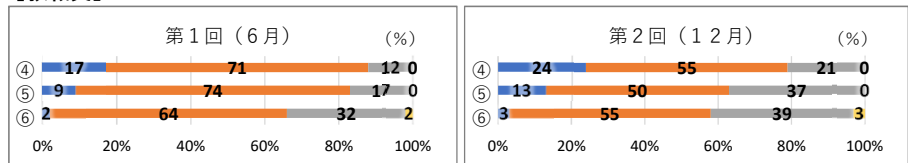
【保護者の皆様】



【地域の皆様】



【教職員】



<成果>

- ④の「学校が楽しい」では、1年生、4年生、保護者で改善が見られた。授業や学校行事、学年行事などで活躍する姿がたくさん見られており、やりがいや、自己有用感等が関係しているものと思われる。また昨年度の12月に行った同様の質問に対し、3年生以上の学年で「どちらかといはい」「いいえ」の割合が減少し、1年前に比べ学校が楽しいと感じている児童の割合が増加している。
- ⑥の「約束や決まりを守って生活している」では、1年生でやや改善傾向が見られている。学校生活や学校の約束にも慣れ、小学校生活のペースをつかみ生活している子供が増えてきている。

<課題>

- △ ⑤、⑥いずれも、全体的に評価は横ばいか下がっている。子供たちの成長とともに、子供自身の判断基準が厳しく冷静になったという見方もできるが、それぞれの項目の改善に向けて、子供たちにとって魅力のある学校づくりや学級経営、子供たちの責任感や自己肯定感、前向きな態度を育てていく取組等を引き続き継続していく必要がある。

<来年度に向けて>

- ☆運動会や六郷フェスティバルなど学校行事を工夫して行い、「学校の日常」を取り戻してはきたが、今後も引き続き感染症対策を徹底しながら、学校行事をはじめ、学年・学級の活動を子供たちに魅力ある取組にしていく必要がある。
- ☆約束や決まりを守ることの大切さを考えさせ、互いに安心して学習に臨める環境を整えていくことや、楽しく分かる授業の実践、意図的な活躍の機会の確保と称賞などが、④⑥の改善に向けて重要だと思われるため、学校全体で取り組んでいく。

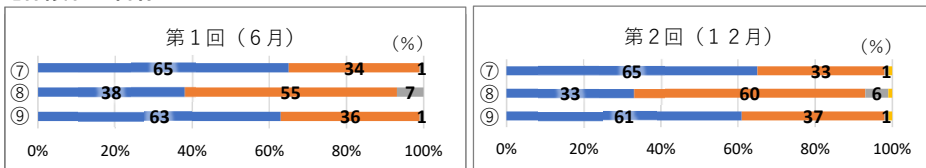
3 家庭・地域における取組について

<アンケート内容> ※保護者の皆様・地域の皆様のみ設問

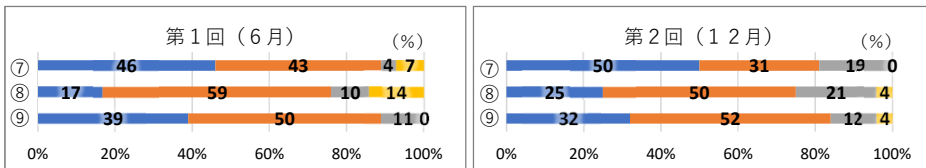
- ⑦ ご家庭(地域)では、お子さん(子供たち)が気持ちのよい挨拶ができるよう声掛けしたり、大人から挨拶したりしている。
 - ⑧ ご家庭(地域)では、お子さん(子供たち)に正しい言葉遣いが身に付くよう声掛けしたり、環境を整えたりしている。
 - ⑨ ご家庭(地域)では、お子さん(子供たち)のよさを認めたり、感謝や称賛の気持ちを伝えたりしている。
- ※保護者アンケートでは「ご家庭では、お子さんが～」, 地域アンケートでは「地域では、子供たちが～」と聞いています。

※ グラフは、左から「はい」、「どちらかというと『はい』」「どちらかというと『いいえ』」、「いいえ」の順に表示

【保護者の皆様】



【地域の皆様】



<成果>

○ ⑦の「気持ちのよい挨拶」や⑨の「子供のよさを認めたり、感謝や称賛の気持ちを伝えたりしている」では、高評価となっており、ご家庭や地域で継続した日常的な取組が行われており、今後も引き続き声掛けをお願いしたい。

<課題>

△ ⑧の「正しい言葉遣い」については、子供たち自身の評価とともに、保護者の皆様の評価も比較的低めになっている。子供たちへの声掛けや様々な場面での「正しい言葉遣い」の環境整備、大人が範を示すこと等を学校でも、ご家庭・地域でも大切にしていきたい。

<来年度に向けて>

☆ 小中連携で取り組んでいる「あいさつ運動」や、小学校で今後取り組む「サンキュレータープロジェクト」などの活動を継続しながらも、普段の生活の中で「場面に応じた正しい言葉遣い」が定着するよう、学校全体で取り組む具体的な活動を検討していきたい。また、地域の方々やゲストティーチャーなどとの関わり中でも挨拶や言葉遣いについて考えさせていきたい。

◎ 「子供の取組や教職員の働き掛けでよいと思ったこと」へのご意見もたくさんいただき、ありがとうございました。ここですべては紹介しきれませんが、以下のようなご意見を頂戴しました。皆様からの温かいご意見を励みに、来年度もよりよい取組や活動をしてまいります。

<子供の取組や教職員の働き掛けでよいと思ったこと>

- ・子供のよいところを見てくれている
- ・漢字や宿題を褒めてくれる
- ・学校のことをよく話してくれているようになった
- ・子供の気持ちに寄り添ってくれた
- ・校外学習や講師を招いての授業
- ・トラブルがあったとききちんと向き合ってくれた
- ・忘れ物を少なくする取組
- ・困りごとや悩み事に丁寧に対応してくれる
- ・子供のよさに気付かされた
- ・集団の行動にこだわらず個にあった対応をしてきている
- ・学年の大きな行事について
- ・六フェスで褒められたこと
- ・挨拶を褒められずっと心に残っている
- ・間違えてもよい環境を整えてくれている
- ・悪いことは悪いとききちんと教えてくれる
- ・いつも何かあれば連絡をいただけて本当にありがたい
- など

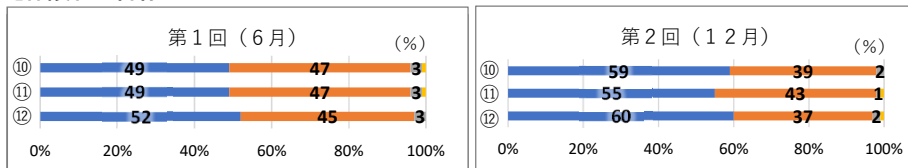
4 学校の取組について

<アンケート内容>

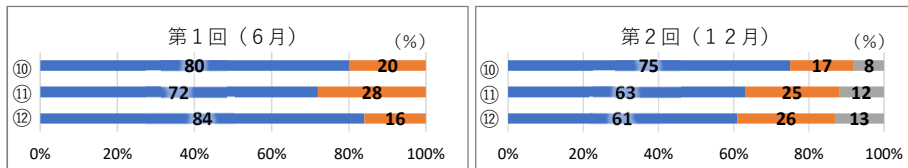
- ⑩ 学校は、気持ちのよい挨拶や感謝の気持ちの伝え合いが増えるよう声掛けしたり、教育活動を工夫したりしている。
- ⑪ 学校は、子供に正しい言葉遣いが身に付くよう範を示したり、教育活動を工夫したりしている。
- ⑫ 学校は、子供のよさを認め、伸ばす姿勢を重視して、日々の教育活動に取り組んでいる。

※ グラフは、左から「はい」、「どちらかというと『はい』」「どちらかというと『いいえ』」、「いいえ」の順に表示

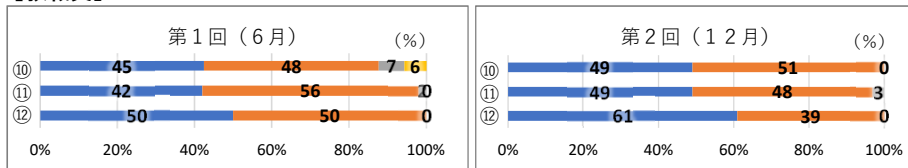
【保護者の皆様】



【地域の皆様】



【教職員】



<成果>

○ ⑩, ⑪, ⑫いずれの項目においても、「はい」「どちらかといえば『はい』」の割合が9割程度と高評価をいただいた。前述のとおり、今後も「気持ちのよい挨拶」「感謝の言葉の伝え合い」「正しい言葉遣い」に向けた具体的な取組を進めていきたい。

<課題>

△ ⑩の「正しい言葉遣い」は、地域の皆様による評価が他の項目と比較して若干下がっている。正しい言葉遣いが身に付くよう、意図的かつ継続的な取組を工夫していくとともに、学校での取組を地域の皆様にもお知らせしていきたい。

<来年度に向けて>

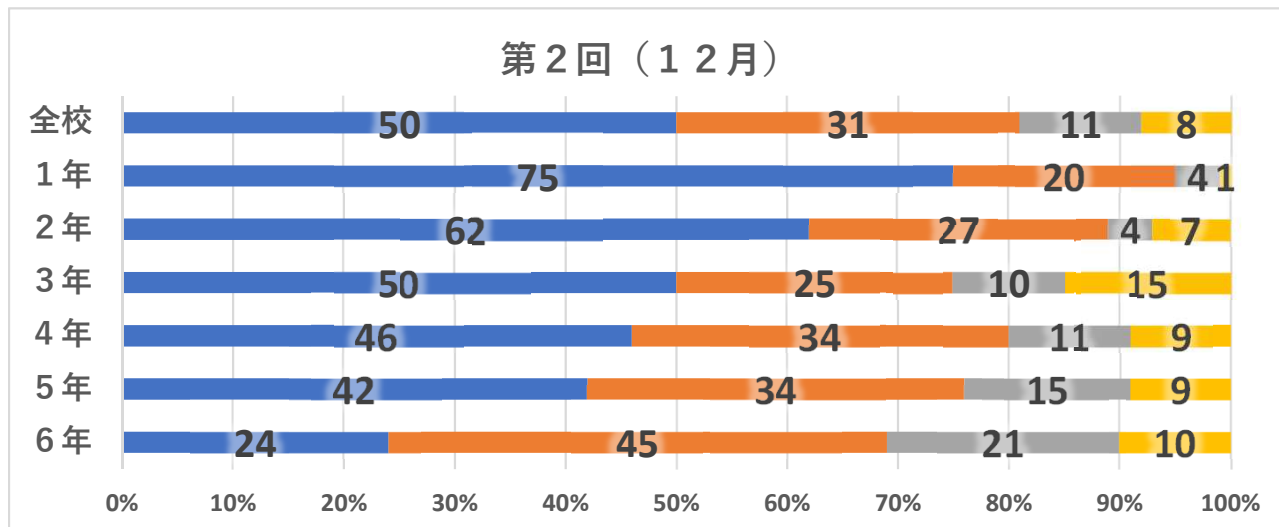
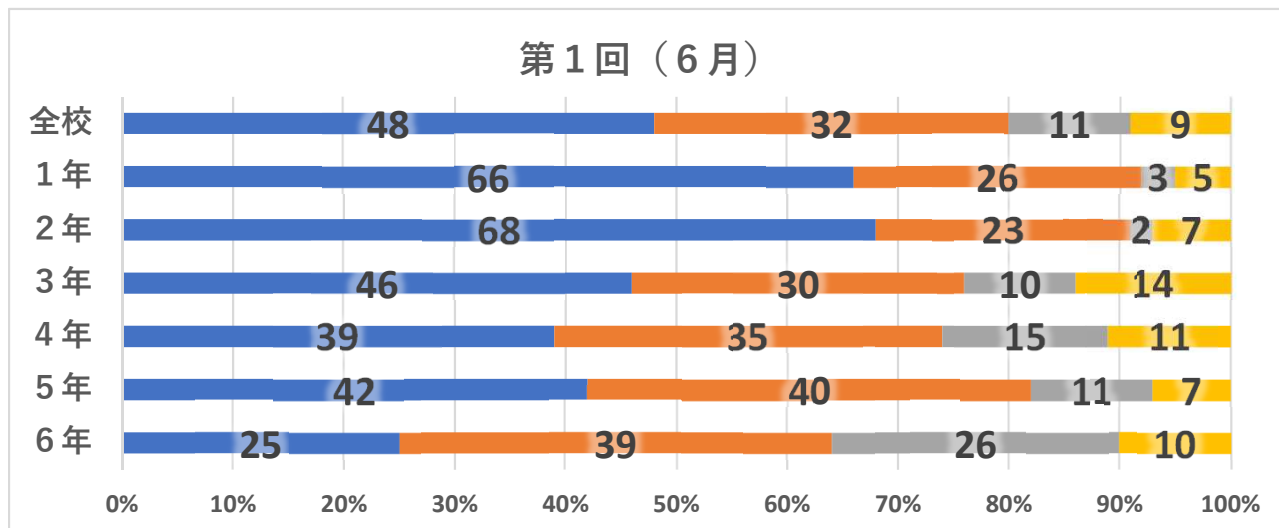
☆ 学校全体として、「子供のよさを認め、伸ばす姿勢を重視して、日々の教育活動に取り組んでいくこと」を共通理解しながら、挨拶・返事・お礼・感謝や謝罪の言葉などが言える、「挨拶の大切さを知り、自分から進んで挨拶できる子供」の育成について重点的に取り組んでいきたい。挨拶のよさや大切さを知り挨拶できる児童は相手意識が芽生え、続けることにより互いに自己肯定感が高まっていく。そして言葉を選ぶようになり言葉を大切にできる児童が育っていくと思われる。

2 子供たちの様子や姿について（2）

<アンケート内容(子供たちのみの質問項目)> 自己肯定感に関する質問項目

●私(ぼく・わたし)には、よいところがある。

※ グラフは、左から「はい」、「どちらかというど『はい』」「どちらかというど『いいえ』」、「いいえ」の順に表示



<成果>

○「私には、よいところがある」という自己肯定感に関する質問では、6月に比べ全体的に改善が見られた。特に1年生では「はい」と答えた児童の割合が10%程度増え、「いいえ」と答えた児童の割合が大きく減少した。6年生でも「どちらかというど『はい』」と回答した児童の割合が増え、3年生、4年生では「はい」と答えた割合が増えている。

<課題>

△「はい」と答えた児童が増えた学年はあるが、「いいえ」と答えた児童数は1年生を除きほとんど変わっていない状況である。これは6月に「いいえ」と答えた児童と12月に「いいえ」と答えた児童が同じである可能性がある。今後、「いいえ」と答えた児童については、学年ごと個別に配慮していく必要があると思われる。

<来年度に向けて>

☆「私には、よいところがある」という質問は、六郷小学校の児童の自己肯定感について知るために、今年度新たに設定した質問項目である。今後もこの質問を実施し、年度ごとの比較・分析もしていくとよいと思われる。

☆学年が上がるにつれ、「はい」「どちらかというど『はい』」と答えた児童の割合は減っていく傾向がある。成長と共に客観的に自分を見ることができるようになることによる結果ともいえるが、子供たちの責任感や自己肯定感を育み、有用感が実感できるような活動を継続していく必要がある。

令和4年度の学校経営方針と来年度の「育てたい力・態度」

令和4年度 仙台市立六郷小学校グランドデザイン

校是「至 誠」（まことをみがく まことをちかう）
 ～自分自身も友達も大切に思う心であり、全ての基盤となる心・態度～

【学校教育目標】 心豊かで たくましく 自ら学ぶ 子供の育成

<p style="text-align: center;">目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「ありがとう」があふれる学校 ◇ 笑顔と活力と秩序のある学校 ◇ 安全・安心に過ごせる学校 	<p style="text-align: center;">目指す子供像</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 認め合い、助け合う子 ◆ 健康で、頑張りぬく子 ◆ 自ら考え、表現する子 	<p style="text-align: center;">目指す教職員像</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 温かく接し心通わせる教職員 ◇ 自己の向上に努める教職員 ◇ 協力し、尊重し合う教職員
<p style="text-align: center;">【家庭・地域の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に協力的な地域性 ・ 歴史と伝統のある地域 ・ 震災による甚大な被害と復興途上 ・ 共働き家庭、3世代家庭が多い 	<p style="text-align: center;">【子供の実態と課題】</p> <p>○素直 ○明朗 ○学校行事に意欲的に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな心の育成（自己肯定感、自己有用感、規範意識） ・ 基礎的な知識・技能の定着 ・ 言葉によるコミュニケーション力の育成（挨拶、言葉遣い、語彙力） ・ 望ましい生活習慣の確立 	

<p style="text-align: center;">心豊か</p> <p style="text-align: center;">認め合い、助け合う子</p> <p>知 礼儀正しく、場に応じた挨拶や言葉遣いができる力</p> <p>態 自他のよさに気づき、進んで他者と関わろうとする力</p> <p>学 自尊感情と規範意識を高め、思いやりを持って生活する力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>重点目標</p> <p>自他を大切にし、協働する力を育てる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○互いに認め合う温かい学級経営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の支持的風土の醸成 ・ 存在感や居場所のある学級 ○自己有用感・自己肯定感の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分づくり教育の推進 ・ 異学年交流の推進 ○心の教育・道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 望ましい挨拶や言葉遣いの習慣化 ・ 生活規律と規範意識の育成 	<p style="text-align: center;">たくましく</p> <p style="text-align: center;">健康で、頑張り抜く子</p> <p>知 健康や安全に関する知識・技能を身に付ける力</p> <p>態 健康や安全に関する課題解決について考え、実行する力</p> <p>学 健康で安全な生活の日常化を目指し、粘り強く取り組む力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>重点目標</p> <p>心身共に健康で頑張り抜く力を育てる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○心身の健康と体力の向上を図る教育活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動習慣の形成と体力向上 ・ 保健指導、食に関する指導の充実 ○防災・安全教育に関わる活動の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対応力の向上 ・ 命を大切にする意識の向上 ○家庭や地域との連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の理解と形成 	<p style="text-align: center;">自ら学ぶ</p> <p style="text-align: center;">自ら考え、表現する子</p> <p>知 基礎基本の学力と学年の発達に応じた語彙を習得する力</p> <p>態 自分の考えを持ち、考えを相手に分かりやすく伝える力</p> <p>学 主体的な学びを生かし、協働して課題を解決する力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>重点目標</p> <p>考えや気持ちを言葉で表現する力を育てる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な知識技能の定着と習熟 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習規律・学習習慣の定着 ・ 個に応じた指導の充実 ○思いや考えを適切に表現する言語活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「聞く力」「表現する力」の育成 ・ 主体的・対話的な学びの日常化 ・ 読書活動の推進 ○体験活動の充実 ○ICT機器の活用推進
---	--	---

＜協働型学校評価重点目標＞ **かかわりを大切にする子供**

<p>学校 *気持ちのよい挨拶や場に応じた言葉遣いの習慣化を図る。 *子供のよさを認め、伸ばす。 *言語活動の充実を図る。</p>	<p>家庭 *場に応じた挨拶や言葉遣いを身に付けさせる。 *子供のよさを認め、励ます。 *子供に感謝や称賛を伝える。</p>	<p>地域 *大人から進んで子供たちと挨拶を交わす。 *日常的に言葉掛けをし、見守る。 *子供に感謝や称賛を伝える。</p>
--	---	---

学校・家庭・地域が一体となって地域総がかりで子供を育む教育

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

令和5年度 六郷小が目指す子供の姿」(案)

◎ 挨拶の大切さを知り、自分から進んで挨拶できる子供
 （挨拶・返事・お礼・感謝の言葉・謝罪の言葉）

低学年 自分から進んで元気よく挨拶できる。

中学年 挨拶の大切さを知り、自分から気持ちのよい挨拶（適切な声の大きさ・姿勢等）をすることができる。

高学年 挨拶の大切さを考え、自分から場面や相手に応じた挨拶をすることができる。

